

# JAバンク富山における 地域密着型金融の取組状況 (2022年度)

2023年9月

JAバンク富山

## はじめに

✓JAバンク富山（富山県下14JA<sup>（注1）</sup>と農林中央金庫富山支店）では、農業と地域社会に貢献するため、2022年度～2024年度JAバンク富山中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

✓2022年度の地域密着型金融の取組状況について、取りまとめましたので、ご報告いたします。

（注1）2023年3月時点

# 目次

1. 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 ……P.3
2. 担い手の経営のライフステージに応じた支援 ……P.11
3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供 ……P.17
4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献 ……P.20

# 1.農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

- 1-1 農業融資商品の適切な提供・開発
- 1-2 農業融資への利子補給の実施
- 1-3 担い手のニーズに応えるための体制整備
- 1-4 JA内事業間連携の強化

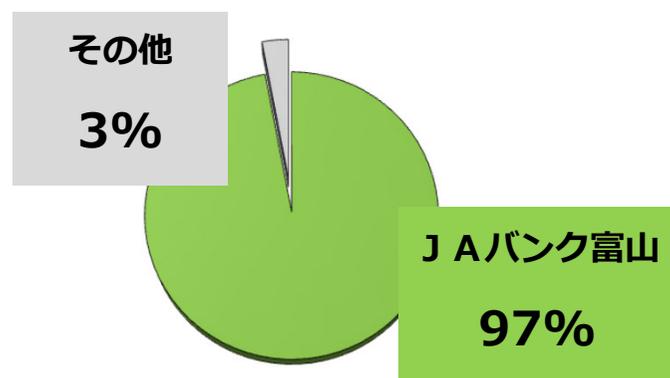
## 1-1 農業融資商品の適切な提供・開発

✓JAバンク富山は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

✓2023年3月末時点のJAバンク富山の農業関係資金残高は<sup>(注1)</sup> **約105億円**、日本政策金融公庫等の受託貸付金残高は<sup>(注2)</sup> **約42億円**取り扱っています。

✓特に農業近代化資金の取扱いにおいてはトップシェアとなっています。

### 【富山県の農業近代化資金取扱シェア】



(2022年12月末時点)出所：富山県

(注1) 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク富山が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫等の貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

**【営農類型別農業資金残高】** (単位:百万円)

営農類型	2023年3月末
農業合計	8,787
うち穀作	3,615
うち野菜・園芸	103
うち果樹・樹園農業	235
うち工芸作物	-
うち養豚・肉牛・酪農	207
うち養鶏・鶏卵	135
うち養蚕	-
うちその他農業 (注1)	4,493
農業関連団体等 (注2)	1,663
合計	10,451

(注) 各数値において、百万円以下の端数については、四捨五入をしております、合計値と異なる場合がございます。

(注1) その他農業には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

(注2) 農業関連団体等には、JAや全農とその子会社等が含まれていません。

**【資金種類別農業資金残高】** (単位:百万円)

種類	2023年3月末
プロパー農業資金 (注3)	6,879
農業制度資金 (注4)	3,572
うち農業近代化資金	3,223
うちその他制度資金 (注5)	349
合計	10,451

**【農業資金の受託貸付金残高】** (単位:百万円)

種類	2023年3月末
日本政策金融公庫資金 (注6)	4,192
その他	0
合計	4,192

(注3) プロパー農業資金とは、JAバンク富山原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

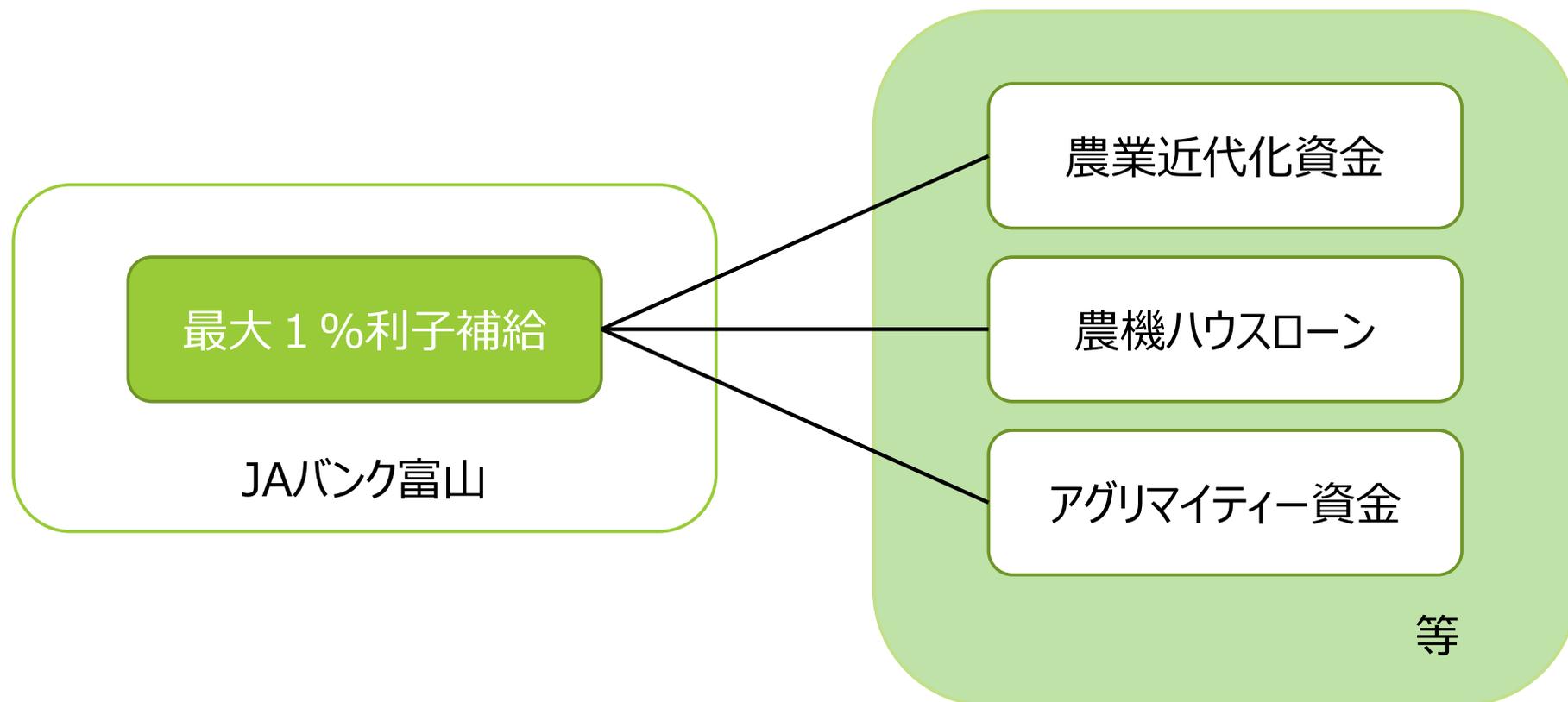
(注4) 農業制度資金は、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク富山が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が融資するものがあり、ここでは①および③の転貸資金と②を対象としています。

(注5) その他制度資金には、農業経営改善促進資金(新スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

(注6) JAバンク富山では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

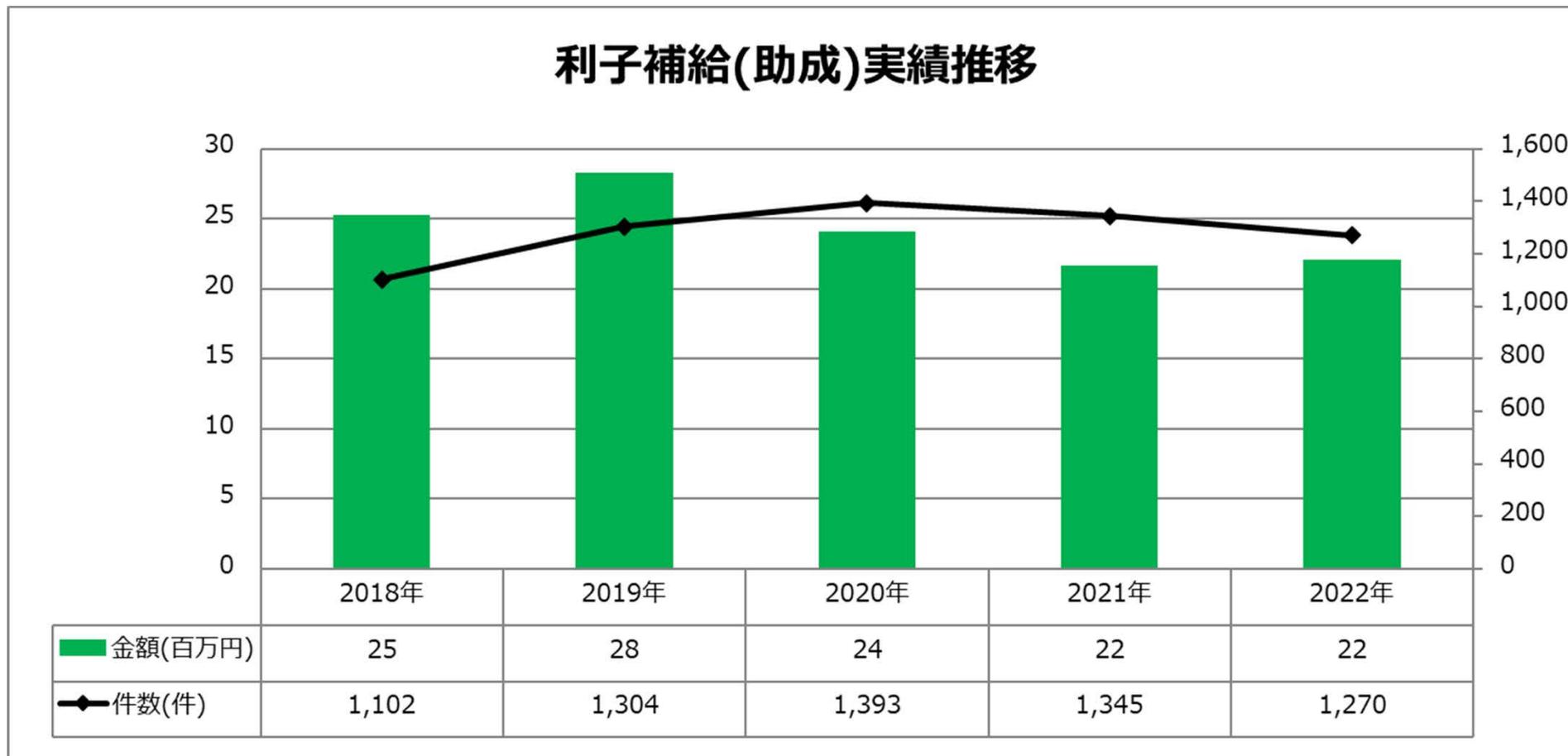
## 1-2 農業融資への利子補給の実施

✓JAバンク富山は、農業振興等に貢献するため、農業融資を対象に最大1%の利子補給を行い、農業の担い手をサポートしています。



✓2022年度は県内14JA (注1) で、**1,270件/22百万円**の利子補給を行いました。

(注1) 2023年3月時点



## 1-3 担い手のニーズに応えるための体制整備

✓JAバンク富山では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

✓県内JAには、**45人**の「担い手金融リーダー」が設置されており、担当者とともに農業融資に関するご相談をお受けしたり、訪問・資金提案活動を実施しています。

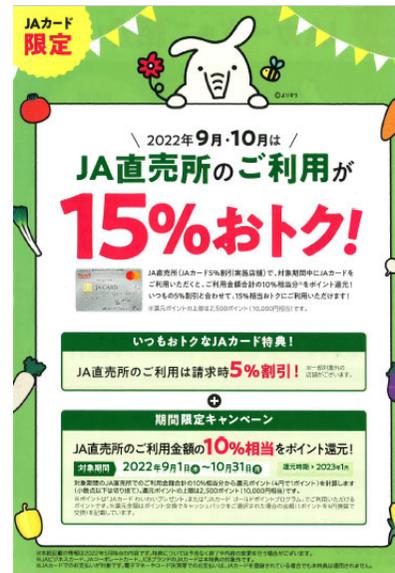
✓農林中央金庫富山支店では、JAサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「農業金融センター」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

## 【具体的取組事例】

農業者向けイベントでのアグリウェブ紹介・JAカードキャンペーンのご案内・各種団体とのリレーション強化	
経緯	・農業者の経営に役立つ情報を発信するwebサイト「アグリウェブ」やJAカードの期間限定キャンペーンについて、農業者向けイベントで紹介、活用方法の提示等を通じて各種団体とのリレーションを強化しました。
概要	・イベントではアグリウェブの実際の画面を見てもらい、農業者が手軽に課題解決のため使用できること、営農や農産物販売、税務、会計など幅広いコラムがあることなどを紹介しました。また、JAカードを対象期間中にJA直売所でご利用いただくと15%オトクになることを案内するとともにチラシ配布もしました。
効果	・アグリウェブについては、農業・農業経営に必要な情報が広く掲載されていること、そのコンテンツを原則無料で閲覧できることについて、農業金融対応に係る他行にはない優位性・メリットを訴求しました。 ・JAカードキャンペーンについては、JAカードの新規加入や対象期間中に直売所でのJAカード利用増加に繋がりました。



【販促物（リーフレット）】



【農業者向けイベントでの様子】

## 1-4 JA内事業間連携の強化

✓JAバンク富山では、農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、これまで以上にJA内事業間連携の強化に取り組んでいます。

### 【具体的取組事例】

融資・営農及びTAC・農機具部門間にて、毎月1回の情報連携を図るミーティングを開催。

営農指導員・農機部門職員・融資担当者を対象に農業融資勉強会を実施。

TACが農業融資実践力強化研修を受講し農業融資の理解深化に繋げた。

営農指導員と連携しながら農業資金の提案を実施。

融資担当者とTACの同行訪問によるニーズの調査・相談を実施。

担い手訪問調査を実施。各部門へ情報共有・連携し、顧客ニーズの対応、問題解決への取り組みを実施。

## 2.担い手の経営のライフステージに応じた支援

- 2-1 新規就農者の支援
- 2-2 生産者と消費者をつなげる場の設定
- 2-3 災害等の被害を受けた方への支援
- 2-4 経営不振農業者の経営改善支援

## 2-1 新規就農者の支援

✓JAバンク富山では、新規就農者の経営をサポートするため、青年等就農資金の取扱いを行っております。

【2022年度 新規就農者をサポートする資金の実績】 (単位：件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	2023年3月末残高
青年等就農資金(※)	20	199	572
就農支援資金	-	-	13
合計	20	199	585

※青年等就農資金とは、2014年度に取扱いとなった日本政策金融公庫資金(就農支援資金は青年等就農資金取扱いにより廃止)。

✓県下JAでは、新規就農者の経営をサポートするため、各種資金・費用の助成、資金計画サポート等を行っております。

### 【県下JA新規就農者サポート事例】

JA名	サポート名	内容
JAみな穂	融資相談	新規就農者のニーズに応じた新規就農資金等の対応。
JAうおづ	営農資金の日本政策金融公庫への斡旋	新規就農者の設備資金へのサポート。
JA富山市	営農資金の融資や助成	青年等就農資金の利用、公共からの補助金、助成金等のサポート。
JA高岡	新規就農者の研修受入れ	研修先の紹介および補助金の申請事務支援等。 就農後の農地紹介も実施。
JA氷見市	新規就農者交流会	若手農家を集め、情報交換を目的とした交流会を実施。
JA福光	営農資金のつなぎ融資	青年等就農資金などの日本政策金融公庫資金を利用する際、資金化までに日数がかかるため、一時的な資金を補うためのつなぎ資金を融資。

## 2-2 生産者と消費者をつなげる場の設定

✓JAバンク富山では、生産者と消費者をつなげる交流イベントを開催し、好評を博しました。

### 【イベント等開催状況】

JA名	イベント名	開催日（年月日）	内容
J A うおづ	農業祭	2022年11月19日～20日	農産物の販売。
J A 富山市	直売所イベント	季節	お彼岸、新米イベント等。
	JA秋の大感謝祭	2022年11月5日～6日	農産物の販売。
J A いみず野	射水市農業産業まつり	2022年11月12日	地域の農産物と地域の産業（商工会）を一堂に販売するイベントを市とタイアップして開催。
J A 高岡	お盆切り花大特売市	2022年8月6日～15日	特設会場を設け切り花の特売を開催。
J A 氷見市	ひみ食彩祭り	2022年11月3日	ひみ牛串焼、花卉、果物（直売）等を路面店にて販売。
J A となみ野	秋の収穫感謝祭	2022年11月12日	地元農産物の直売、地域住民との交流。
J A なんと	なんと酒米サミット	2022年7月21日	酒米の実需者である酒造メーカー販売店と生産者の交流。
	お盆の花販売「朝一」	2022年8月13日	管内の生産者が栽培した切り花を販売。
	JAなんと農業祭	2022年11月13日	野菜・果実品評会、旬野菜販売、小・中学生「書道・図画・作文」作品展示・展示会等。
J A いなば	おおさかパルコプリモート交流会	2022年5月21日	WEBカメラを繋ぎ、バーチャル田植え体験やバケツ稲作体験、「おにぎらず」の紹介。
		2022年9月8日～9日	操縦体験や施設見学。
		2022年9月24日	オンラインで新米を食べながら交流会。

## 2-3 災害等の被害を受けた方への支援

✓JAバンク富山では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた農業者や資材高により影響を受けた方々を支援するため、災害対策資金の創設や利子補給・保証料助成等により償還条件の緩和を行いました。

### 【2022年度 取組事例】

(単位：件、百万円)

取組事例	JA名	内容	件数	貸付実行金額
アグリマイティー資金（緊急対応）	JAバンク富山	JAバンク富山では、ウクライナ情勢悪化に伴う原油価格・農業資材価格等高騰による影響を受けた農業者を支援するため「アグリマイティー資金（災害緊急資金）」を指定し、県域全体での貸付限度額（20億円）に対して利子補給を対応しました。	82	356

## 2-4 経営不振農業者の経営改善支援

✓JAバンク富山では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

### 【2022年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績(注1)】

(単位：先数、%)

	期初経営改善 支援取組先(注2)				再生計画策定率 = a / A	ランクアップ 率 = b / A
	A	Aのうち再生計画を 策定した先数 a	Aのうち期末に債務 者区分がランクアッ プした先数(注3) b	Aのうち期末に債務 者区分が変化しな かった先数(注4) c		
正常先①	66	0		64	-	
要 注 意 先	うちその他要注意先②	9	3	0	33.3%	0.0%
	うち要管理先③	0	0	0	-	-
破綻懸念先④	8	2	0	5	25.0%	0%
実質破綻先⑤	6	3	0	4	50.0%	0%
破綻先⑥	0	0	0	0	-	-
小計(②～⑥の計)	23	8	0	13	34.8%	0.0%
合 計	89	8	0	77	9.0%	0.0%

(注1) 農業所得が主となる農業者を対象として、JAの事業年度で集計しています。

(注2) 経営改善支援取組先とは、JAが条件緩和や再生計画の策定など経営改善支援に取り組んでいる先をいいます。

(注3) 期末に債務者区分がランクアップした先とは、期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。

(注4) 期末に債務者区分が変化しなかった先とは、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先をいいます。

### **3.経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供**

- 3-1 負債整理資金による経営支援
- 3-2 動産担保融資の活用

## 3-1 負債整理資金による経営支援

✓JAバンク富山では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【2022年度 負債整理資金貸出実績】

(単位：百万円)

資金名	2023年3月末残高
JA農業経営維持継続資金	234
農業振興農業経営安定資金特別枠	46
経済貸越借換資金	7
大家畜・養豚特別支援資金（注1）	45
農業経営負担軽減支援資金（注2）	2
その他（注3）	10
合 計	344

（注1）大家畜・養豚特別支援資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

（注2）農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換のための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

（注3）その他は、県独自の制度資金や、制度資金以外のプロパー資金（要綱資金、独自資金）による借換え資金などが該当します。

## 3-2 動産担保融資の活用

✓JAバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取り組みを行っております。

✓富山県における融資の実績は次表のとおりです。

【2022年度 動産担保融資活用実績】

(単位：百万円)

種類	2023年3月末	
	件数	残高
農産物	0	0
畜産物	2	11
機械設備	0	0
合 計	2	11

## 4.農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等 地域育成への貢献

- 4-1 食・農への理解促進
- 4-2 農山漁村等地域育成への貢献

# 4-1 食・農への理解促進

✓JAバンク富山は、小学生の農業に対する理解を促進を図るため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

✓教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、2022年度には県下の国公立小学校・義務教育学校および特別支援学校計**191校**へ**10,200冊**を配布し、学校の授業等において活用されています。



【児童用】



【教師用】



【教材本贈呈式の様子】

## 4-2 農山漁村等地域育成への貢献

✓県下JAでは、講演会・セミナー等の開催、地域貢献活動などの幅広い実践活動に取り組んでいます。

### 【地域貢献活動内容】

JA名	イベント名	内容
J A アルプス	学校給食へ新米贈呈	JAアルプス管内で収穫された新米を市町村へ寄贈し、学校給食で子供たちに地元の新米を食べてもらう。
J A 富山市	農業体験	小学生に学校田の実施や田植えや稲刈り等の農業体験を行い、地域の子供たちの交流を図ることで「農業」への知識・理解を深める取り組みを行っている。
J A 高岡	バケツ稲の栽培	地域の保育園・小学校と提携し食農教育活動に取り組んでいる。
	米ニューケーション田	次世代を担う子供たちに実際に農作業を体験してもらい、農業の大切さを学びきっかけづくりとしている。
	地元プロスポーツチームとのコラボ企画	富山サンダーバースとのタイアップ企画として、農作業体験を実施。地域の子供たちに地産地消への理解促進とスポーツ振興など広める。
J A 氷見市	こども食堂への食材提供	いきいき直売の会より野菜の提供。 JA氷見市より米の寄付。
	インボイス研修会	「インボイス制度について」講師に税理士を招いて集落営農組合向けに研修会を開催。
J A なんと	小学校の野菜作り体験	管内小学生を対象に学校敷地内での野菜栽培の支援・栽培指導を行っている。
	田舎の味噌づくり体験	管内で栽培した大豆を使用した味噌づくり体験交流。
J A いなば	スポーツ振興の為に寄付、物品寄付	JAいなばで販売している「富山はとむぎ茶」（ペットボトル）販売代金一部を小矢部市にはスポーツ振興の為に寄付、高岡市には物品（ストーブ・空気清浄機）の寄付。